

探究・校務改革
支援補助金
2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 roku you

【サービス名称】

六諭

【サービスの支援項目】

カテゴリー1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

探究・SEL（ソーシャル・エモーショナル・ラーニング）プログラム『六論』は、生徒一人ひとりの興味関心に基づいたプロジェクトを通じて、自己と社会への探究を深めるアクション型プログラムです。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

導入による主なメリット

- 教員がゼロから探究授業を設計する必要がなく、準備・運営負担を大幅に軽減
- 探究学習の進め方や評価方法が明確になり、学校全体で共通理解を持って実施可能
- 地域人材（企業・専門家等）との連携により、実社会と接続した学びを実現

類似サービスとの違い

- 教材提供のみでなく、年間設計・授業実施・教員研修・評価分析までを伴走型で支援
- SELを基盤に据え、生徒の内面的成長（自己理解・関係性・主体性）を重視
- 外部依存ではなく、教員の自走・内製化を見据えた設計となっている点

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

学習に関連する効果

- 生徒の自己理解、他者理解、社会との関わりに対する意識の向上
- 探究プロセス（課題設定・仮説・調査・発表）への理解と主体性の醸成
- 地域人材との対話を通じた、実社会を意識した学びの深化

業務効率化・利便性に関する効果

- 授業スライド、ワークシート、指導要綱を活用することで、教員の教材作成時間を削減
- メンター調整や授業設計を外部が支援することで、教員の調整業務を軽減
- 評価アンケートの設計・分析を外部が担うことで、振り返り業務の効率化を実現

(3) サービスの活用場面

- 探究学習の年間計画策定時
- 探究授業の実施・運営時
- 地域人材（企業・専門家等）を活用した授業・発表会の実施時
- 教員研修
- 生徒の学習成果や成長を可視化するための振り返り・評価時

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

1ライセンス（1サービス）あたり税抜680円

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

- ・年間カリキュラム設計支援
学校担当者と協議し、教育方針・生徒実態に即した年間計画を策定
- ・教員研修の実施
探究学習およびSELの基礎理解、授業実践に関する研修を年度開始前等を実施
- ・授業支援ツールの提供
授業スライド、指導要綱、ワークシートをGoogle Drive上で編集可能な形で提供
- ・授業伴走・現場サポート
授業への同席や事前・事後の相談対応等を通じて、教員の実践を支援
- ・地域人材メンターとの連携支援
探究テーマに応じた地域人材の選定・調整、授業・発表会への参画支援
- ・生徒アンケートの実施および分析
生徒の成長や学習変化を把握するアンケートを設計・分析し、学校へフィードバック

これらを通じて、学校現場にノウハウを残しながら、持続可能な探究学習の定着を支援しています。

■ 学校等教育機関の課題と解決策

教育現場では、探究学習の重要性が高まる一方で、教職員の負担増加や指導の属人化、生徒の主体性を十分に引き出しきれないといった課題が生じています。本サービスは、探究学習を年間設計から実施・評価まで一貫して支援することで、教育の質向上と業務負担軽減の両立を図るものです。

児童生徒・教職員が抱える課題

児童生徒の課題

- ・自分の興味関心や強みを言語化できず、探究テーマ設定が表面的になりやすい
- ・他者と協働しながら学ぶ経験や、社会と接続した学びの機会が不足している
- ・探究活動が「やらされる学習」になり、主体性や自己効力感につながりにくい

教職員の課題

- ・探究学習の設計・進め方・評価方法に対する不安や迷いが大きい
- ・年間計画、教材作成、外部人材調整などの業務負担が教員個人に集中しやすい
- ・学校内だけで探究を完結させることが難しく、社会との接続が限定的になりがち

サービスが果たす役割

探究学習の構造化と質の担保

SELを基盤とした年間カリキュラム設計と教材提供により、探究学習の目的・プロセス・評価を明確化

教職員の負担軽減と指導力向上

授業スライドやワークシート、実施要項の提供、授業伴走・研修を通じて、準備・運営負担を軽減しつつ実践力を高める

生徒の主体性と社会接続の促進

地域人材メンターとの連携により、生徒が実社会と関わりながら学ぶ機会を創出し、学びの実感と動機付けを高める

成果の可視化と改善サイクルの構築

生徒アンケートの実施・分析を通じて、学習成果や成長を可視化し、次年度以降の改善につなげる

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

■ 本事業における具体的な活用場面（豊見城市立豊見城中学校1年生）

地域企業（オリオンビール株式会社）と連携したミッション型探究授業として実施
生徒が「社会とつながる学び」を体感する授業を設計

■ 授業の流れとサービス活用内容

1. 導入

- ・提供した授業用スライドを用いて、探究の目的と企業ミッションを共有

2. 探究活動

- ・ワークシートを活用し、グループで課題整理・アイデア検討
- ・教員、rokuyouスタッフがファシリテーションを実施

3. 社会接続

- ・企業担当者から生徒のアイデアへのフィードバック

4. 振り返り

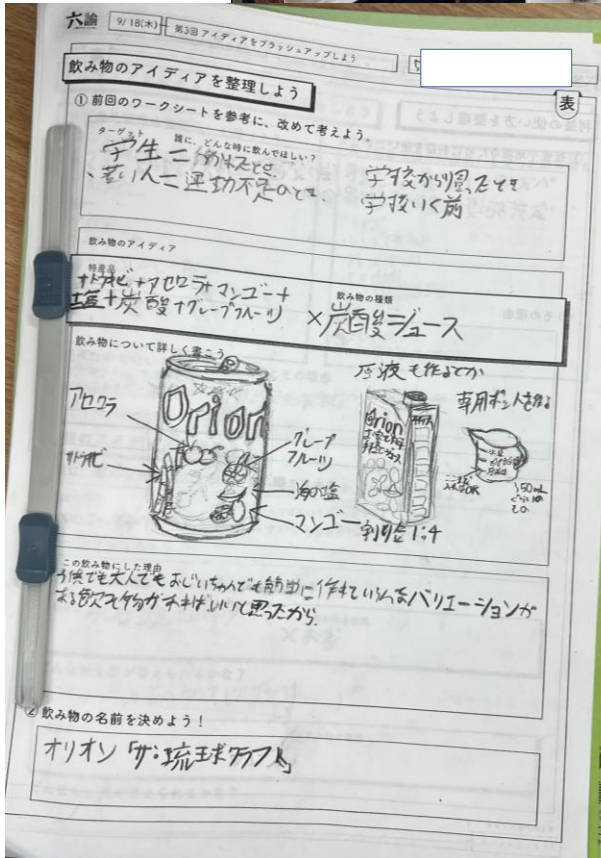
- ・ワークシートを用いて学びや気づきを整理

■ 活用効果

- ・生徒の主体的な発言や協働的な学びが促進
- ・探究学習が社会と結びついた実感のある学びとして定着
- ・教員は教材準備・調整業務が軽減され、生徒支援に集中可能



▲オリオンビール株式会社メンター
来校時の授業風景



◀授業で使用したワークシート教材

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	4	学校等教育機関数	9校
--------	---	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	豊見城市教育委員会	豊見城市立長嶺中学校	沖縄県	中学校	1,2,3年生	総合的な探究の時間
2	豊見城市教育委員会	豊見城市立豊見城中学校	沖縄県	中学校	1,2,3年生	総合的な探究の時間
3	豊見城市教育委員会	豊見城市立豊崎中学校	沖縄県	中学校	1,2,3年生	総合的な探究の時間
4	豊見城市教育委員会	豊見城市立伊良波中学校	沖縄県	中学校	1,2,3年生	総合的な探究の時間
5	沖縄県教育委員会	沖縄県立浦添商業高等学校	沖縄県	高等学校	1,2年生	総合的な探究の時間
6	沖縄県教育委員会	沖縄県立読谷高等学校	沖縄県	高等学校	2年生	総合的な探究の時間
7	学校法人文理佐藤学園	西武学園文理小学校	埼玉県	小学校	1~6年生	総合的な探究の時間
8	名古屋市教育委員会	名古屋市立味鋺小学校	愛知県	小学校	1~6年生	総合的な探究の時間
9	沖縄県教育委員会	沖縄県立具志川高等学校	沖縄県	高等学校	1,2,3年生	総合的な探究の時間

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

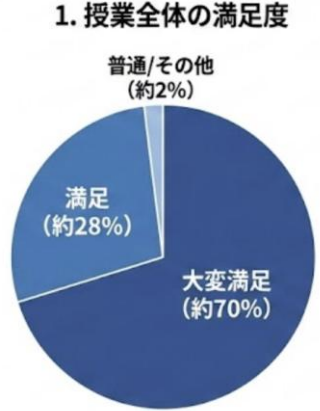
定量的効果検証

本授業における生徒の満足度およびスキル向上度を定量的に測定した結果、目標として設定した「肯定的回答80%以上」を全項目で大きく上回り、受講生の行動変容に繋がる高い教育効果が得られました。

対象：長嶺中学校 3年生
N数：57名(有効回答数)

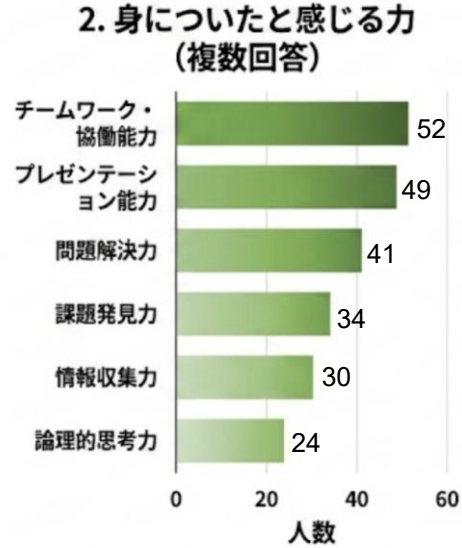
1. 授業全体の満足度

授業全体の満足度について聞きました。
大変満足」「満足」を合わせた肯定的な回答が約98%に達しました。これは、当初期待していた水準(80%)を大幅に超過しており、ほぼ全員の生徒が授業内容に強い関心を持ち、主体的に取り組めたことを示しています。



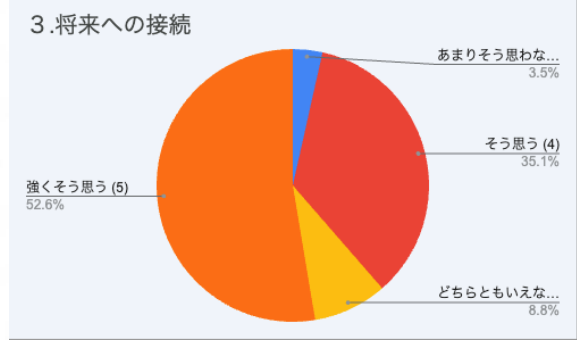
2. 身についたと感じる力

授業を通じて身についた力について聞きました。
多くの項目で数値が向上しましたが、特に「チームワーク・協働能力」や「プレゼンテーション能力」において90%近い生徒が自身の成長を実感しており、他者と関わりながらアウトプットする実践的なスキルが養われたという結果が出ました。



3. 将来への接続

将来の進路や学びへの影響について聞きました。
約88%の生徒が「自身の将来に良い影響を与えた(強くそう思う・そう思う)」と回答しており、単なる体験にとどまらず、自身のキャリアやこれからの生き方を考えるきっかけになったという結果が出ました。



定性的効果検証

①生徒へのアンケートから

自由記述からは、「社会との接続」「協働の意義」「自己効力感の向上」に関する記述が多数見られ、探究活動が単なる知識習得を超えた深い学びにつながっていることが読み取れます。

対象：長嶺中学校 3年生
N数：57名（有効回答数）

1.社会・将来への接続

社会とのつながりや将来への意識について聞きました。

「コミュニケーション能力を社会に出たときに活かしたい」「働くことへのイメージが良くなった」といった記述が多く見られ、教室での学びを実社会や自分の将来と結びつけて捉えられるようになったという結果が出ました。

2.協働と成長

協働（チームワーク）の意義について聞きました。「一人ではなく周りとの協力することの大切さを知った」「ミスのカバーし合える環境が良かった」などの声が挙がり、個人のみならず、集団で課題に向き合うことの重要性を実感したという結果が出ました。

3.主体性・自己変容

自身の変化や主体性について聞きました。「自分から考えて行動できるようになった」「失敗を恐れず挑戦する姿勢が身についた」といった記述があり、探究活動を通じて自己効力感が高まり、自律的な学習者へと変容したという結果が出ました。

定性的効果検証

②教員へのアンケートから

自由記述からは、「外部リソースによる学びの深化」や「教材準備・進行のサポートによるゆとりの創出」に関する記述が多く見られ、本事業が質の高い授業実践と教員の心理的・物理的負担の軽減を両立させていることが読み取れます。

対象：豊見城中学校・伊良波中学校・長嶺中学校 の先生方
N数：11名（有効回答数）

1.教育の質の向上（探究学習の高度化）

外部の専門性を取り入れた授業の質について聞きました。「自分自身の今後の生き方について深く考えることができたと思う」「学校では無かった活動だったので、子どもたちが生き生きと輝いている姿が見られた」といった記述が見られました。外部との調整や専門的なプログラムを活用することで、従来の枠を超え、生徒の自己理解やキャリア形成に資する質の高い探究活動が実現できたという結果が出ました。

2.業務負担軽減（校務改革・授業支援）

伴走支援による業務負担の変化について聞きました。「スライドやプリントの準備、授業の展開を担ってくれてとても助かった」「外部との調整を任せられるのが良かった」などの声が挙がりました。教材作成や外部連携などの事務的・専門的なプロセスをサポートすることで、教員がより生徒一人ひとりの状況把握や個別フォローに注力できる環境が構築されたという結果が出ました。

■探究・校務改革支援サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

【生徒からのコメント】

長嶺中学校 | 学年生徒より

- ・自主的に行動する力、自分の考えを具体的に説明できる力、時間を意識して行動する力がついた。
- ・計画を立てて考えて、行動することなど、将来どんな仕事についてもできるようなことをみつけられた。
- ・思ったよりも自分一人で何でもできるという自信を忘れないようにしたい。
- ・働くことのイメージが良いイメージに変わった。人と関わって協力することの大切さを知った。
- ・スライドを使って説明をしてくれたので分かりやすかった。
- ・大人が決めないで自分たちだけで計画できたことが良かった。

【先生からのコメント】

豊見城中学校の先生より

- ・探求の時間スタートのときに丁寧な説明があった。人員配置的、時間的、金銭面的に難しいかもしれませんが、毎時間rokuyouさんの誰かが1人でもいるといいな、と思いました。

伊良波中学校の先生より

- ・新しい取り組みだったので、質問にも気軽に答えてもらえて良かった。
- ・初めて取り組むことが多かったので戸惑いもあったが違う視点の授業が見ることができて良かった。
- ・外部との調整をしてくれて助かった。

具志川高校の先生より

- ・体験型の研修会でとても分かりやすく、実践してみたいと感じています。
- ・私たちが楽しみながら、実践を繰り返していく事をモットーに今後も続けていきたいと思います。本日も貴重な研修会をありがとうございました。

■ 探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

本事業を通じて、探究学習支援サービスの有効性を確認できた一方、学校ごとの運用差や導入初期の調整工数といった事業運営上の課題が明らかになりました。今後は、導入プロセスの標準化と運用支援体制の強化により、より持続可能で再現性の高いサービス提供を目指します。

直面した課題

(1) 導入時の課題

- ・学校ごとに探究学習の理解度や実施経験に差があり、初期設計に想定以上の調整工数が発生した
- ・教育委員会・学校・企業など関係者が多く、意思決定や役割分担の整理に時間を要した
- ・教材や支援内容の全体像が初期段階では伝わりにくく、サービス理解にはばらつきが生じた

(2) 実施していく中での課題

- ・授業進行スピードや学年特性により、想定していたカリキュラムの柔軟な調整が必要となった
- ・教員の業務状況により、打ち合わせや振り返りの時間確保が難しいケースがあった
- ・地域・企業連携において、日程調整や関与度合いの差が生じた

(3) 実施した結果、新たに顕在化した課題

- ・継続的に活用するためには、教員が自走できる仕組みづくりがより重要であることが明確になった
- ・成果を可視化する指標やアウトプットの整理方法について、さらなる改善余地があることが分かった
- ・サービスの価値を学校内外に共有するための情報整理・発信の必要性が高まった

解決するための改善策

導入プロセスの標準化

初期ヒアリング項目や年間設計のテンプレート化により、導入時の調整工数を削減する

運用支援の強化

教員向けの簡易マニュアルやFAQ、オンライン相談の整備により対応負荷を分散する

教員の自走を促す設計への転換

外部依存を前提とせず、教材編集・運用が学校側で完結できる設計をさらに強化する

成果可視化の高度化

アンケートや定性データの整理手法を改善し、成果を分かりやすく共有できる仕組みを構築する

再現性を意識したサービス改善

複数校での実践を通じて得られた知見を蓄積し、他校展開しやすいモデルへと進化させる

社名	株式会社roku you
代表	宮城 依梨
設立年月	平成31年4月4日
本社	沖縄県那覇市久茂地2長目2-2タイムスビル2階
資本金等	300,000円
売上高等	35,486,110円
従業員数	14人
事業内容	SEL (Social Emotional Learning) をベースとしたカリキュラム・プログラム製作や小学校から大学までの学校や教育委員会への伴走支援をおこなっています。また、日本各地にコミュニティ事業部があり、地域の学校サポートや情報共有も行っています。学校導入はハードルが高いけど学んでみたい、という方にも参加いただけます。加えて生徒たちへの調査やリサーチも行っています。

■お問い合わせ窓口

担当:金井 理恵

電話:080-5418-0908

Mail:r.kanai@roku-you.co